



令和5年度

議会報告会・意見交換会

令和5年11月20日(月)

伊勢市議会

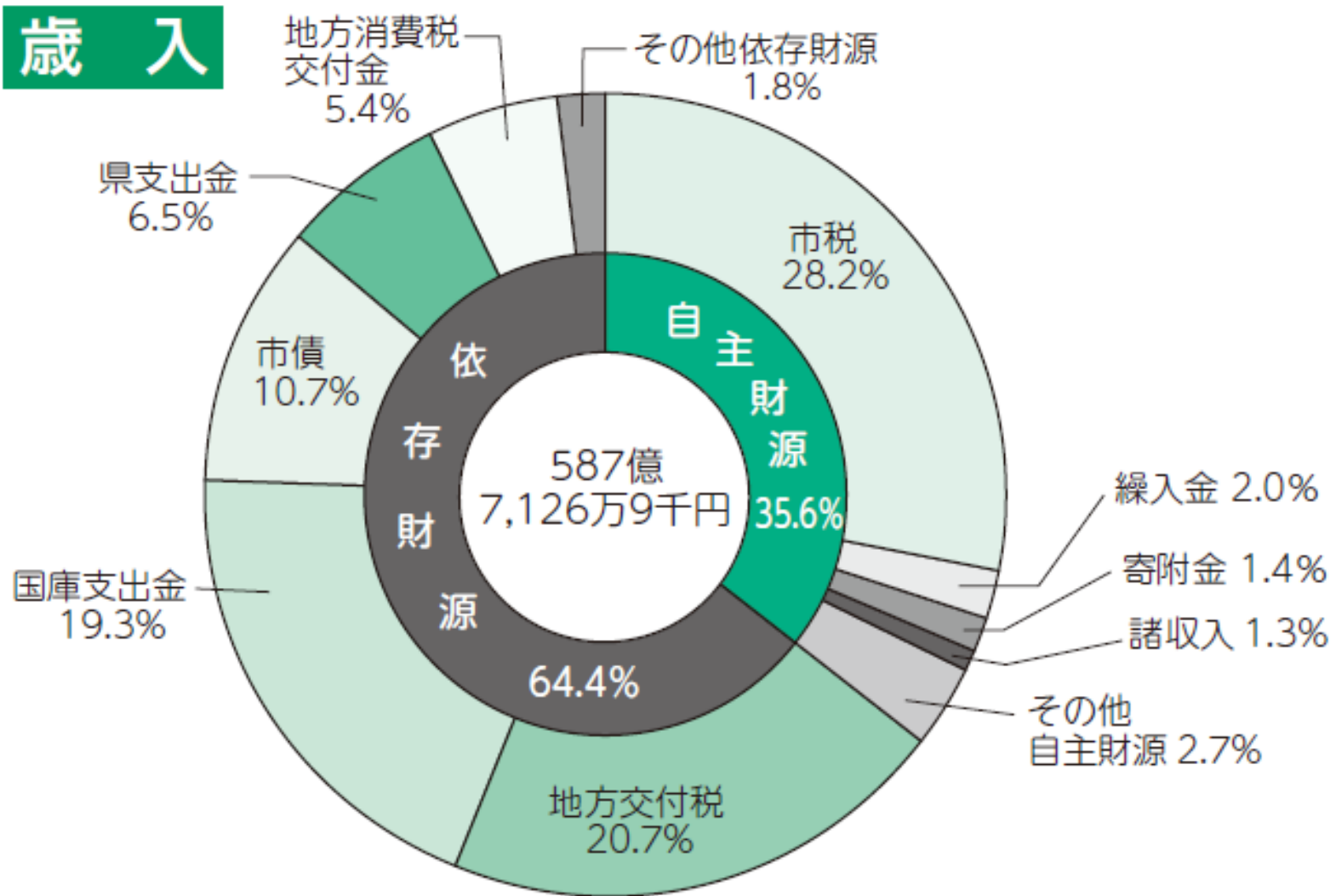
令和4年度決算審査 概要

令和4年度 一般会計・特別会計・企業会計決算(概要)

◆令和4年度一般会計・特別会計・企業会計決算(概要)◆

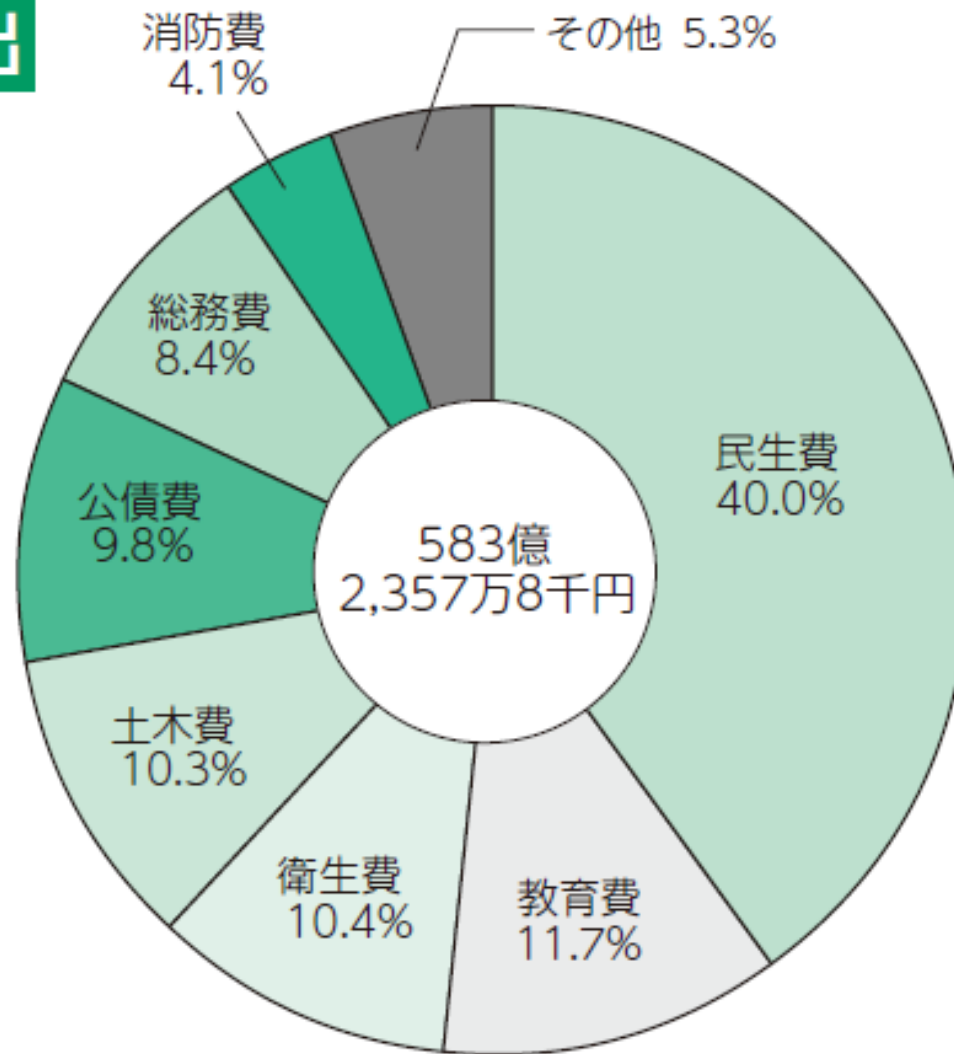
会計名		歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引差額
一般会計		587億7126万9千円	583億2357万8千円	4億4769万1千円 (基金積立額および翌年度へ繰越すべき財源を含む)
特別会計	国民健康保険	125億727万4千円	123億8411万9千円	1億2315万4千円 (基金積立額を含む)
	後期高齢者医療	34億4374万3千円	33億8336万8千円	6037万5千円
	介護保険	149億9339万9千円	143億7228万6千円	6億2111万3千円
	住宅新築資金等貸付事業	3254万6千円	3254万6千円	0円
	観光交通対策	5億3287万7千円	4億4428万5千円	8859万2千円
	土地取得	1億4013万2千円	1億4006万7千円	6万5千円
会計名		収益的収入(税抜き)	収益的支出(税抜き)	差引損益
企業会計	病院事業	89億3723万9千円	86億7944万1千円	2億5779万8千円
	水道事業	25億3858万8千円	22億2791万3千円	3億1067万5千円
	下水道事業	38億7134万円	35億1455万1千円	3億5678万9千円

令和4年度 一般会計決算の内訳(歳入)



令和4年度 一般会計決算の内訳(歳出)

歳出



決算特別委員会とは

→ 3つの常任委員会を単位とした分科会で審査

決算特別委員会

※議長(品川 幸久)、令和3年度監査委員(吉井 詩子)、令和4年度監査委員(久保 真)を除く
全議員(20名)で構成

産業建設分科会

教育民生分科会

総務政策分科会

産業建設分科会

労働費、農林水産業費、商工費、観光費、
土木費、上下水道など

会長	野 崎 隆 太
副会長	野 口 佳 子
	三 野 泰 嗣
	井 村 貴 志
	上 村 和 生
	北 村 勝
	宿 典 泰

教育民生分科会

民生費、衛生費、教育費
国民健康保険、介護保険、病院など

会長	藤原清史
副会長	辻孝記
	宮崎誠
	中村功
	楠木宏彦
	福井輝夫
	吉岡勝裕

総務政策分科会

議会費、総務費、消防費など

会長	岡田善行
副会長	大西要一
	川口浩
	久保真
	鈴木豊司
	西山則夫
	浜口和久

各分科会の審査概要

審査の日程

産業建設分科会	9/22、9/25
教育民生分科会	9/26、9/27
総務政策分科会	9/28

産業建設分科会

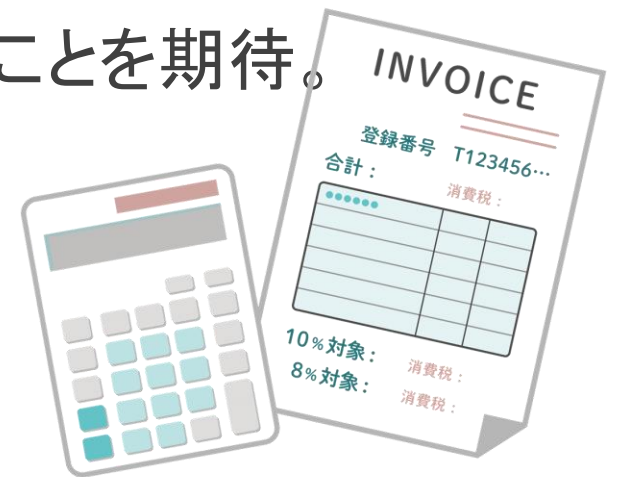
産業建設分科会（歳入）

- 住宅使用料・・・市営住宅の収入未済額について、滞納には様々な理由があるが、徴収率の向上を。



産業建設分科会（歳出） 労働費

- 雇用支援・・・求人に対して人が集まらない職種があることから、様々な周知を行い、事業の推進を。
- シルバー人材センター運営補助・・・高齢化による会員数の減少という課題があるが、高齢者支援と地域社会発展につなげることを期待。
- インボイス制度への対応・・・慎重な対応を。



産業建設分科会（歳出） 農林水産業費

- 有機・減農薬栽培・・・農業・環境の両面に配慮した政策を期待。
- 農村振興基本計画・・・中間評価の基準が甘いと指摘。
- 排水機場維持管理・・・管理・運営者の環境改善を。
- 担い手対策・・・陸上養殖等を周知することで小学生が将来を描けるような取組を期待。

産業建設分科会（歳出） 商工費

- EC販路開拓支援・・・掲載店を増やすことを期待。
- 地域おこし協力隊・・・活動を継続してもらえる環境づくりを期待。
- 廃止となる産業支援センター・・・土地・建物・サービスを慎重かつ早期に引き継ぎを。
- 企業立地・・・かつて活用を検討していた大仏山公園付近の土地の再検討を。

産業建設分科会（歳出）観光費

- 観光地等混雑緩和・・・観光客にとって満足度の高い体験に寄与できるよう期待。
- 修学旅行生誘致・・・伊勢志摩に来てもらえるよう修学旅行のあり方の研究に期待。
- クリエイターズ・ワーケーション・・・事業効果を把握することが大事。

産業建設分科会（歳出） 土木費①

- 地籍調査・・・早期に調査を完了できるように事業の推進を期待。また、課題を解決するために担当職員増員を提案。
- 消えかかっている道路区画線・・・円滑な道路環境の整備を期待。
- 岡本吹上線の無電柱化・・・安全・安心・防災面の観点からも工事の早期完成を期待。



産業建設分科会（歳出） 土木費②

- 立地適正化計画・・・市民に計画を理解してもらうためにインセンティブをつけることを提案。
- 集まれこどもたち公園整備事業・・・事業の成功には地域の声を聴くことが大切。
- 空家対策・・・空家等実態調査が5年に1度しかなく、空家問題の解決にはならないのではと指摘。

産業建設分科会 上下水道

- 有収率(上水道)・・・漏水調査の方法により改善の余地がある。
- 水道事業ビジョン(上水道)・・・将来的な市民負担を増やさないよう見直しに取り組むことを期待。
- 工事の繰越(下水道)・・・当初予算の約半額が繰越となっており大きな課題であることから、年度内で工事を完了することが重要である。また、工事の分割発注を。

教育民生分科会

教育民生分科会（歳入）

- 体育施設使用料・・・伊勢フットボールヴィレッジの使用料、収入未済分が不納欠損されたが、再発防止を。



教育民生分科会（歳出） 民生費①

- お悔やみコーナー・・・死亡時の手続きは多岐にわたり、可能な限りワンストップで行えるように。
- 障がい者相談支援・・・誰一人取り残さない支援を。
- 手話検定試験受験料の補助・・・受験者のさらなる増加を。



教育民生分科会（歳出） 民生費②

- アプリを活用した福祉相談・・・気軽に相談できる手段であり、身のある相談を。
- ICTを活用した保育・・・保育職員の業務負担軽減を。
- 子どもの発達支援・・・早期発見、情報共有を。



教育民生分科会（歳出） 衛生費

●地球温暖化対策・・・市民が環境変化を実感できる表現、調査を。

市内企業と連携し、オール伊勢市で取組を。

●ペットの供養・・・犬や猫が亡くなった場合の対応を。

●ごみの減量・・・事業の検証、食べきり運動の推奨など、

ごみの削減に向けた活動を。



教育民生分科会（歳出） 教育費①

- 英語教育・・・すべての子どもがかかわることのできるように。
- 職場体験・・・職業体験だけでない説明を。
- 不登校対策・・・コロナの影響で生活が変化したが、
教員のフォロー、保護者に対する支援を。



教育民生分科会（歳出） 教育費②

- ICT機器活用・・・学校間での連携や授業配信の工夫を。
- 学校図書充実・・・読書に親しめる環境づくりを。
- スポーツ施設の活用・・・大きな大会を開催し、集客誘致を。



教育民生分科会 介護保険

●介護認定審査・・・令和4年度の判定件数 6,557件

非該当	要支援1	要支援2
17件	1,101件	762件

非該当でも

丁寧な支援を。

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1,478件	879件	665件	898件	757件

教育民生分科会 病院

- 医師確保・・・魅力ある伊勢病院を。
- 健診・・・オプション検査を増やし、収益増加を。
- 収支・・・職員の処遇改善、収益確保を。



総務政策分科会

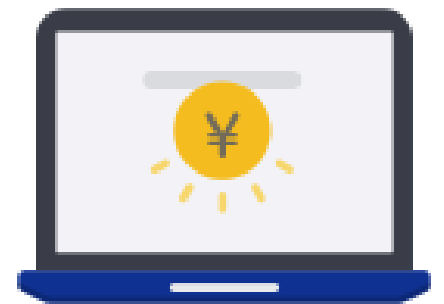
総務政策分科会（歳入）

●市税

・・・督促状の発送等にかかる業務量を削減し、収納事務の効率化を。

早期に滞納整理を行うことで収入未済額を減らし、収納率の

さらなる向上を。



総務政策分科会（歳出） 総務費①

- 保育士の確保・・・公立・私立にかかわらず、市全体として対応を。
- 職員研修・・・市の執務の公平性を担保できるよう、研修を通じて的確な指揮管理を。



総務政策分科会（歳出） 総務費②

- ふるさと応援寄附・・・寄附をいただいた方への返礼品が市内の産業振興の一つとなるよう、さらなる推進を。
- 男女共同参画推進・・・推進する事業者等の表彰に係る応募者数を増やす取組を。



総務政策分科会（歳出） 総務費③

●自治会加入率・・・加入率の改善に向けた取組を。

●自治会の担い手不足

・・・市職員の地域活動への参加を。

デジタル化による自治会業務の削減等により、

若い世代の参加促進に向けた支援を。



ご清聴ありがとうございました。



伊勢市議会議場